

カンガ タカヒラ
神田孝平年表

時代	年	できごと
江戸時代	1830	美濃国不破郡岩手村で生まれる。
	1832	父の孟明が亡くなる。叔父神田柳溪に育てられる。
	1846	京都へと出て、仕官する。
	1849	江戸へと出る。
	1853	蘭学の学習を開始する。オランダ語で日本に伝わった学術
	1862	蕃書調所に登用される。東京大学のもとになった学校の一フ
	1867	幕臣に取り立てられる。 経済学の教科書を翻訳する（『経済小学』）。
明治時代	1868	明治政府に登用される。 議会制度導入のためのプロジェクトチーム（議事体裁取調掛）のメンバーとなる。 オランダの憲法を翻訳する（『和蘭政典』）。
	1869	公議所（明治政府の立法機関）が開院する。 地租改正についての意見書を公議所に提出する（「税法改革ノ議」）。 農民や町人の代表による国会開設を説く意見書を提出する（「集議院下院設置ニツキ奏議 附集議院下院規則」）。
	1870	地租改正についての意見書を再提出する（「田税改革議」）。
	1871	兵庫県令に任じられる。県知事 天文学の教科書を翻訳する（『星学図説』）。
	1872	地租改正についての意見書を出版する（『田税新法』）。
	1873	兵庫県に町村会を開設する。 「愚見十二条」を提出する。国民と政府とは対等関係
	1875	兵庫県に区会を開設する。
	1876	兵庫県に県会を開設する。
	1884	この頃より考古学者としての活動をはじめめる。
	1890	貴族院議員に選ばれる。
	1898	自宅で亡くなる。